

算数オンライン塾 5月12日の問題 一速さ一

太郎君は、家から峠まで登るのに1時間30分かかり、峠から家まで下るのに54分かかります。太郎君の家と峠の間には記念碑があります。ある日、太郎君が家から峠まで登るのに、記念碑と峠とのちょうど真ん中の地点で忘れ物に気づき、すぐに家まで戻りました。そして、家で忘れ物を取り、すぐに峠に向かったところ、はじめに家を出発してから3時間36分後に峠に着きました。太郎君は、登るときと下るときはそれぞれ一定の速さで歩くものとして、次の口に適当な数を入れなさい。

(1) 太郎君の家から忘れ物に気づいた地点までの距離は、太郎君の家から峠までの距離の $\frac{\boxed{ア}}{\boxed{イ}}$ です。

(2) 太郎君が記念碑の前で忘れ物に気づき、すぐに家まで戻って戻ってから再びすぐに峠に向かったとすると、太郎君は始めに家を出発してから $\boxed{ア}$ 時間 $\boxed{イ}$ 分後に峠につきます。

【式と考え方】

(1)	ア		イ	
(2)	ア		イ	